

令和6年度 富士見町立本郷小学校グランドデザイン

【校長の願い】 自分で・みんなで・世界の中で
 ○明日を楽しみに安心して過ごすことができる学校
 ○自分を大切に。まわりのみんなも大切に。
 ○のりしろ厚く、他喜力あふれる教職員集団。
 子どもも 教職員も他喜力いっぱい！

Society5.0の時代。今、激変の時代を生き抜くための資質・能力が求められています。本郷小学校では、児童が自分で考え、自分で工夫し、自分の言葉で表現し、友だちや先生方と練りあげる深い学びとなるよう授業を工夫します。また、関わる人との折り合いをつけながら、安心できる関係をつくり、子どもたちが夢や志をもつためのサポートをしていきます。

【児童の様子】
 ① 八ヶ岳山麓の雄大な自然の中で伸び伸びと過ごす子どもたち
 ② 他喜力に憧れ、自分の行動を高めようとする子どもたち
 ③ 自分の思いを語り、やりたいことを決めて取り組む子どもたち

【富士見町 教育大綱】
 1 **教育のまち**～子どもたちが愛着・誇り・参画意識をもって人生を豊かにする教育～
 2 **子育てのまち**～親も子どもも夢と希望を抱いてともに育ちゆく家庭～
 3 **学び続けるまち**～生涯にわたり健やかに学び、自らの生活や地域に活かす社会～

【基底の学校教育目標】
よく学び よく遊ぶ つよい子

【めざす子どもの姿】
ひとりになり ひとつになり 夢中になれる子

～10年後の子どもたちに必要になる力を見据え、つけたい資質・能力～

自分にとって (知識・技能) 本物に学び、本物に迫るとことん向き合い・浸り込む	みんなにとって (思考力・判断力・表現力) 本質を理解し、本質を伝える対話を重ねよさ(相違)を分かち合う	社会にとって (学びに向かう力) 他喜力に憧れ、他者を認め協働し、夢に向かって挑戦する
---	--	---

【コミュニティスクールの推進】

- ① 学習サポート
 - ・総合的な学習の時間等の外部講師
 - ・西村豊先生の自然観察教室
 - ・授業支援のボランティア (ミシン、かけ算九九、マラソン見守り等)
- ② 読書サポート…読み聞かせ
- ③ 安全サポート…見守り隊の組織化
- ④ 学校から地域に出かけるワークショップ (地域との共育)

【教育の営みを充実させる研修】

- ① 外部講師をお招きしての人権教育研修会、インクルーシブ研修会
- ② 授業作り充実のための自主研修会

【学力向上プラン】

- ① 信州型UDを意識した授業改善
 - ・学習問題と学習課題の位置づけ
 - ・子どもの主体性を引き出す場作り
- ② 学習内容の定着のために
 - ・対話と板書でのまとめの位置づけ
- ③ 家庭学習の充実
 - ・家庭学習の手引きの活用
 - ・反転学習実践の積みあげ
- ④ 学力向上の基盤となる活動
 - ・総合的な学習の充実 (八ヶ岳、立場川、稗の底、SDGsとの関連等)
- ⑤ 指導力向上に向けた研修
 - ・河野先生をお招きしての研修会
 - ・ICT有効活用に関する研修

確かな学びをつむぐ

【重点活動① 〔協働的な学び〕】
 共に問題解決学習に向かい 対話的で深い学びをつむぐ
 ・共に問いと向き合い、課題を練り上げ、夢中になれる取組
 ・ひとつになり 対話や気づきの中から生まれる深い学びの分かち合い
 ・次時を共に思いえがき、楽しみになる学習のまとめ

【重点活動② 〔個別最適な学び〕】
 自分の課題に向かい 納得できる個の学びをつむぐ
 ・ひとりになり 対象と向き合い夢中になって、対話に臨む準備
 ・多様性を生かし、明日が楽しみになる家庭学習(予習型)

豊かなくらしを創る

【重点活動③ 〔他喜力の花〕】
 他喜力を高める はたらく時間
 ・自ら気づき、心を磨く清掃
 ・児童会や生活・総合を核とした地域とのつながり
 ・児童会や行事による地域貢献作業(地域参画)

【重点活動④ 〔異年齢交流〕】
 くらしを創る交流・集会活動
 ・生活科・総合的な学習の時間の充実と、姉妹学年、全校等での交流
 ・全校で歌うことの喜びにあふれ、自らの思いから創る音楽集会
 ・くらしを見つめ、互いに自らの思いを語る児童集会、全校集会

〇〇地域に生きている
 地域と学んでいる
 地域で学んでいる

(年度の学校教育目標)
夢中になって 納得するまで追究し、ともに他喜力の花を咲かせる子ども

【夢中になって 納得するまで追究し、ともに他喜力の花を咲かせる子どもを育てる教師】

【授業力を高める】 学力を正しく理解し、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力を育てる教師

【児童理解を積み重ねる】 日常の姿をつかんだり、共感したりして、児童の特性をとらえ、成長を支援する教師

【子どもと共に浸り込む】 子どもとともに人権感覚を高め、他喜力あふれる教師

本郷小スタンダード

「共に認め合い学び合う人間関係や授業作り」

- A 一人一人に考える時間と発言の機会をもち、話し合いに参加できる支援をする。
- B 意見を交流し合う場面では、自分の考え以外にも様々な考えがあることに気づけるよう支援する。
- C 子どもたちのありのままの姿を共感的に受け止め、思いを大事にする。その後、子どもの学びがどの力であるかを捉えて評価する。

「児童理解を深め、適切な支援と個々のよさの位置・価値付け」

- A どの子にも有効な視覚支援 (ICT機器の活用など) や、思考が整理できる板書を目指し、自分なりの考えをもって授業に参加できるようにする。
- B 主眼や振り返りの視点を板書や手元に明確に据えて授業を行い、授業カードの考察を、次時の授業へつなげていく。
- C 「声かけ」「座席配置」「支援ツール」など、どの子にも、安心して学習できる環境づくりを目指す。